

ぶざが 議会だより

88号 2014. 6. 30



新船太古の内覧会・・・2頁

たくさんの方の来訪者、豪華な内部に驚きの声

通年議会を試行します・・・4頁

第2回定例会の会期を193日間に

子育て会議設置・・・・・・・・6頁

加工室が稼働・設置条例制定へ

滞納はなぜ増加？・・・・7頁

町税等の滞納に関する調査特別委員会報告

出前議会の意見は？・・・・12頁

編集 小値賀町議会 広報常任委員会

発行責任者 小値賀町議会議長

電話 0959-56-3111

新船「太古」完成！

7月7日から就航 地元は今後に期待



大広間



豪華ラウンジ



広いデッキ



広いスイートルーム

小値賀港で内覧会

普段には入れない操舵室にも入りました。

帽子をかぶって、ちょっとした船長気分も。



操舵室で説明を受ける見学者

上り便は小値賀には午後1時着
福岡には午後5時50分着
下り便は博多午後11時45分発
小値賀には午前4時40分着
運賃は、博多まで3920円に



乗降用エレベーター



キッズルーム

国、県のリプレイス事業を活用して大分県臼杵造船所にて建造中だった新船フェリー太古が来る7月7日から就航する運びになり、6月22日、ニュー太古の内覧会が小値賀港にてあり、多くの見学者で賑わいました。

操舵室にも入れていただき、船長の気分も味わうことができ、見学の皆さんは、ご満悦です。

船体も前の船より大型化され、スピードアップも図られています。

船の装備、設備も大変豪華になっており、エレベーター、リラックスルーム、シャワー室、子ども達が遊ぶ部屋（キッズルーム）などがあり、これから快適な船旅が楽しめそうです。

運賃も、国県の補助を受けて建造しておりますので、旧運賃より1000円程度安くなっております。

大型化に伴い、揺れも少なく、欠航等も少なくなると思います。スピードアップにより、博多着が1時間ほど早くなり、利便性は高くなると思います。

この流れで、九州商船にも期待したいものです。



グリーン和室



ラウンジ



リラックスルーム



グリーン寝台もテレビ付

3階の議会事務局で傍聴の受付をしています

夜間議会に 18 名が傍聴

子ども・子育て会議設置へ

特産品加工室稼働開始

第2回定例会



3階議場の傍聴席入口（これから審議する予定の議案が見れるように、議員配布の議案のコピーを手にとれるようにしております。）

るが、その目的が分かるような表現が必要とのことで、第1条を修正しました。（関連記事は、6頁）滞納金の問題を調査していた特別委員会（伊藤忠之委員長）の報告がなされ、その報告書の質の高さに感心しながらも、これを今後活かしていかなければと思った次第です。（関連記事は7頁）

6月17日午後7時から平成26年6月議会が開催されました。
初日は夜間議会とし、町長の行政報告、一般質問を行いました。
一般質問は、3人が登壇し、藻場再生関連、小値賀会の連携活用、新田の整備について町長に考えを質しました。（関連記事は8頁）
今回審議した議案の中で、子ども・子育て会議条例では、新しい法律に従って設置する会ではあ



夜7時の役場玄関（議場に向かうため、階段を上る傍聴の方々）

第2回定例会の 会期を193日間に

通年議会を試してみます



午後7時から開会された平成26年第2回定例会

議会が活動できる期間を会期といいます。これまで、会期はある一定の期間（年4回など）と定められていました。従来はこの定例会が

終わると議会は閉会して

いました。

通年議会とは、議会の会期を1年（または約1年）とし、その間は、議会の判断で必要に応じて

会議を開けるようにする制度です。この制度を導入することで、議会が常時活動可能な状態になります。

も迅速に対応できる。○適時適切かつ柔軟な委員会の活動ができる。○町長による専決処分ができなくなる。

平成24年の自治法改正で通年会期制が認められることになりました。

通年議会は、機動性ある議会へ変貌する可能性を秘めています。

メリットとしては、次のようなものが言われています。

○十分な審議時間の確保が可能。

○議会運営の充実、活性化が図られる。

○常に活動できる状態にあるので、突発的な災害等が発生した場合に

実際に実行しながら問題点や課題を見つけて導入するかどうか検討していきたいと思います。今回の会議の冒頭、「会期は193日間にします」は新鮮な響きでした。小値賀町議会は、現在積極的に議会改革に取り組んでいます。

今まで当たり前と思っていた議会のあり方が視点を変えると違ったものに見えてきます。これからの議会の動きにご注目ください。

小値賀町議会では議会改革の一環として通年議会について検討しています。一年間を会期とすることで、議会及び議員の活動が機能的になることを目指すものです。

本格的に実施するかどうかを決めるにあたり、今回第2回の定例会の会期を試験的に12月末までの193日間とすることにしました。

子育て支援策を強化 子ども・子育て会議の 「目的」を追加修正

小値賀町子ども・子育て会議条例

平成24年に制定された「子ども・子育て支援法」は子育てをめぐる課題の解決を目指して作られたもので、平成27年度に本格的なスタートとなります。

この法律に基づき、町における子育てに関する課題を抽出し、解決策を検討し、施策に活かすための会議として、この度「小値賀町子ども・子育て会議」を立ち上げることにしております。

そのために、設置に関する条例を新しく制定することにしました。

町当局の条例案には、この会議の性格や目的が示されていないので、町民にも分かりやすいように修正案が出されて、審

修正可決

議した結果、第1条を修正して、「子育て家庭からのニーズや子育て支援関係者から十分な意見を聴取し、施策に反映し、実施するための重要な会議として、小値賀町子ども・子育て会議を設置する。」としました。

商品開発に活用するために

加工室を設置（誰でも使用可能）

小値賀町旧斑小学校特産品開発加工室条例

町内で生産される農水産物を、加工し、商品開発を行うことにより、第1次産業の6次産業化の推進など地域産業の振興及び経済の活性化を目的として、旧斑小学校に加

工室を設置します。維持運営については、指定管理者制度により、担い手公社が行うようになります。

この度の条例は、加工室の設置及び管理についての必要事項を定めるものです。誰でも利用できますが、予め指定管理者の許可を受ける必要があります。条例は、原案の通り、可決しました。



小値賀の山学校の取り組み

地区住民センターの整備事業に関する地元分担金の取り決め

地区住民センター等整備事業分担金徴収条例
これまでの地区公民館と同様な負担割合です。地区公民館の場合は、主体は地区で、補助金を交付してもらうという形

総額を 29 億 2904 万円に

平成 26 年度小値賀町一般会計補正予算

歳入、歳出それぞれ 5904 万円を追加し、

【歳入の主なもの】

地方交付税 1690 万円
国庫支出金 2065 万 8000 円
県支出金 2130 万 9000 円

【歳出の主なもの】

総務費 713 万 9000 円
(社会保障・税番号制度システム改修委託料など)
農林水産業費 2642 万 2000 円

＊今回上程されたのは、上記以外に、報告 2 件、発議 1 件、専決処分 5 件、条例案 1 件、指定管理者の指定 1 件、工事請負契約締結 1 件、財産の取得 1 件、推薦 3 件、意見書案 1 件、議員派遣 1 件でした。いずれも原案可決です。

滞納が増えたのは なぜ？

町税等の滞納に関する調査特別委員会報告

のつと
法に則った、督促、催告、財産調査、差押などの
滞納処分を前提に税の徴収に努力を
債権管理体制の充実と納税義務の周知徹底を



報告書を提出する伊藤特別委員長

5 人のメンバーで構成する本特別委員会は、平成25年10月から9回にわたる調査研究の中で、滞納が発生し増加した原因の分析から着手しました。

本町漁業を取り巻く経済的な状況が滞納の背景



滞納調査特別委員会審査風景

にあったと推測されるものの、ポイントは公債権（税等の滞納金）に関して、法律に則った滞納処分や消滅時効に関する職員の知識不足です。

また、納税者の個々の事情にに応じて、納税緩和措置を講じること、又は誠意が見られない滞納者には滞納処分を実施するという徴収事務に関する手引書の整備が無かったことも原因の一つです。

① 債権に関する処理や手順等について規定した「債権管理条例」の制定と手引書の作成
② 「滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」の制定
③ 滞納整理事務の一本

超える規模にまで膨らんでおり、その内、約600万円が時効を迎えております。これらを調査する過程で、同じ町民として差押などを実施しにくいなどの感情的な諸事情があったにせよ、法に基づき滞納徴収事務を行うべきであったと考えられます。執行上の責任については強く感じてもらう必要があります。チェックする立場にある議会においても、もっと専門的知識を身につける必要性を感じるべきだと思います。今後の対応策として、次のことを提言しました。

化、および担当職員の後にも、議会においても行政においても、滞納問題に端を発しながら、町の主要課題を突き付けられている気がします。今後の取り組みに期待します。



一般質問

町民を代表している議員は、それぞれ異なる様々な多様性と多種多様な価値観をも代表しています。

これらの多様な価値観を基にそれぞれの視点から課題の指摘や施策への道筋、提案などあらゆることを町民の代表として公に意見を披露する場となっているのが、議会の花である一般質問です。

一般質問は、大所高所からの政策を建設的立場で論議すべきであり、能率的会議運営が必要なことを十分理解して簡明でしかも内容のある次元の高い質問を展開していきます。

今回の一般質問は3名の議員が登壇しました。

末永一朗議員
「藻場の再生の目標値の設定と段階的計画について」・・・9

松屋治郎議員
「町の再生及び活性化を図るため各地小値賀会との連携強化について」・・・10

土川重佳議員
「新田の整備と今後の利活用について」・・・11



末永一朗議員

藻場回復の段階的目標設定と事業計画づくりで

より効果的な取り組みを

県のモデル事業を国で出来ないか要望中



藻場回復状況を見る藻場再生特別委員会



する事を明記しています。

県営のモデル事業である「藻場回復実証推進事業」の調査結果を踏まえ、計画に基づき、藻場の回復を図ってまいりたいと考えています。

また、離島漁業再生支援交付金事業を実施している各集落において、ガンガゼや巻き貝等の食害駆除、母藻投入等の場所に、母藻を投入したところ、良い結果が確認されています。

また、これらの実施に必要な人材確保として、スキューバダイビングの免許取得者の30名規模を目指しています。

一朝一夕には解決しない問題とは思いますが、一歩ずつ、継続して成果を出すよう、頑張っていく所存でございます。

【問】末永議員

藻場は、魚類の産卵・幼魚の生育場として重要な役割を果たしている。本町における藻場の再生は、県単独のモデル事業として取り組んで具体的な効果が現れてきている。

しかし、まだ途中であり、3年計画では、本町全体の藻場再生には、かなりの時間がかかると考える。

議会版の総合計画の中で示したような10力年で平成3年頃の70%までに藻場を回復する目標を設定したように、藻場再生10力年の計画を立て、段階的に目標を設定し、成果を確認しながら、再生事業を効果的に行っている。

くという考えはないか。財政面の事もあろうかと思うが予算を組んで町単独で取り組んで行く考えはないか伺う。

【答】西町長
今年策定した「第4次小値賀町総合計画」の中にも、現在実施しているガンガゼや、巻き貝等の食害駆除、母藻投入等の取り組みを、継続実施

また、離島漁業再生支援交付金事業を実施している各集落において、ガンガゼや巻き貝等の食害駆除を徹底して実施した場所に、母藻を投入したところ、良い結果が確認

できていることから、本町全集落でこれを継続実施していただければと考えております。

平成26年度で期限がくる離島漁業再生支援交付金事業の継続、更なる強化を関係機関に要望して参ります。

県のモデル事業も3年経過した平成26年度で終了しますが、その後、国の方で継続出来ないか要望しているところです。

成果目標の中でも、平成30年度までにウニや巻貝の駆除面積を1万㎡、アマモ移植面積を500㎡の設定をしております。

また、これらの実施に必要な人材確保として、スキューバダイビングの免許取得者の30名規模を目指しています。

一朝一夕には解決しない問題とは思いますが、一歩ずつ、継続して成果を出すよう、頑張っていく所存でございます。



松屋治郎議員

町の活性化策に

小値賀会の活用を考えては？

意見交換を行い、共通認識を持ちたい



【答】西町長

【問】松屋議員
新聞紙上に全国自治体の896自治体が消滅可能な都市と名づけ将来地域が崩壊する恐れがあるとのショッキングな指摘

があり、出郷者及びその関係者等と交流・連携・親睦を図り、地域の再生と活性化を図ろうとする動きが強まっている。幸いにして本町には幅

広い地域をカバーする小値賀会が結成されており、計画的な町の広報活動を行う事が可能となっている。

このようなネットワークを活用し、出郷者や小値賀会会員から活きた情報を聴取し、世間の動向をふまえた観点からのアイデアや方向性のヒントをいただき、政策に反映させる仕組みづくりが必要だと考える。

【答】西町長
年々、人口が減少していく状況の中、小値賀会の存在は、大きくなっており、強力な応援団として今後も連携を深めていく必要があると考えます。

課題がありますので、今後研究する必要があります。今後の交流、親睦のあり方について、各小値賀会の役員をはじめ、歴代の役員経験者やこれからの若い世代の方のご意見を伺いながら、今後の交流と親睦のあり方について、検討していく必要があります。

寄付金の利用活用のことについても、寄付して戴いた方々の思いを考え、有効活用を図ることで、寄付して戴いた方々の意志に報いていきたいと考えています。



今年の県北小値賀会のパーティー

また、各地の小値賀会との交流や親睦のあり方も検討すべきだと思ふ。更に、ふるさと寄付金等の有効活用策として、幅広く人的交流を行い、町の活性化に繋がたらどうかと思ふが、町長の考えを伺う。

今後、小値賀会の役員を当町に招いて、意見交換会を実施し、方向性について、共通認識を持ちたいと考えております。

小値賀会会員を町の情報交流人口に登録することを、小値賀町が直接実施することは、技術的な



土川重佳議員

歴史的にも景観的にも重要な地区である

新田地区を放置しないための取り組みを

整備が必要と思ふが、その維持管理態勢が課題



【問】土川議員

前方地区と中村地区を結ぶ新田地区は、今から680年前に海であったこの地区を先人たちの並々ならぬ尽力と多数の牛の犠牲によって埋め立てられた。

その後の水田作付等により、長年小値賀の経済に多大なる貢献をし、膳所城や潮見様伝説など町の文化財としても、重要な歴史的遺産としても貴重な地域である。

その新田地区が、ダン竹やヨシ竹が繁茂し放題に放置され、当時の模様がうかがえない状態となっている。

先の出前議会の折りにも、「歴史的に果たしてきた役割は大きく、この

ままでは先人に対しても申し訳がない」と現状を憂慮する意見や整備のアイデアを頂いた。

イノシシ問題もあり、荒れ放題で放置するわけにはいかないと思ふ。

関係集落の地区会長のご理解を得て、草払いを実施し、その後消防団の訓練を利用して焼却するなどをして原型に戻すことは出来ないか伺う。

【答】西町長

新田は、農業的利用と、貴重な観光資源ともなる小値賀を代表する良好な田園景観として、重点景観区域に選定されている歴史のある地区ですが、農地として復元することは困難なことと考え

ます。

今後は、新田地区を重点景観区域に選定している以上、何らかの対策を小値賀町としても実施すること、検討する必要があると考えます。

しかし、昔の原風景に戻すとなると、湿田での過酷な草払い等を毎年継続して実施する必要もあり、相当無理があると考えます。

遊休農地の解消や、小値賀町が長崎県内で唯一加盟している「日本で最も美しい村連合」の趣旨からも、あそこに手を入れ、ヨシ竹等を取り除いて、景観を回復することは、大変良いとは思いますが、その後の管理、利活用をどのようにするべ



ヨシ竹などが生えて荒れたまま放置された新田の一部

【相津地区】出席者数は5人・出席率は5,1% 出席率ランキング14位			
意見	藻場の再生を阻んでいるのは食害。小魚が減って食害の要因が減ったので海藻が回復している状況につながっている。	意見	企業の誘致を考える必要があるのでは？
議会	海藻は水温との関係も大きい。あらゆる条件を整えて自然の再生を図る手助けをしていく姿勢が大事。	議会	製造業などの企業誘致は難しいが、ネット社会ではサテライトオフィスなど通信環境を活用した分野の企業誘致は可能性がある。

【笛吹地区】出席者数は4人・出席率は0,3% 出席率ランキング17位			
質問	給食施設について大幅に増額になっているが内容は？		ーを出さない態勢づくりを促していく。
議会	貨物船が欠航した場合の保冷の問題や空調施設などで増額となっている。	意見	フェリー運賃の低廉化やサービス向上を
質問	給食でアレルギーや食中毒が発生した場合の責任は？	議会	議会としても、九商はもとより国や県に陳情活動をおこなっており、現在は協議会の発足に向けて進めている。
議会	アンケートなどにより把握し、アレルギー		

【木場地区】出席者数は11人・出席率は15,5% 出席率ランキング8位			
質問	人口が減少の中、議員定数の考えは？	意見	生活保護受給について、年金よりも良い
議会	議会でも議会基本条例を策定する中で、議員定数と報酬についても今年12月を目途に審議の予定です。		ため不公平感が住民より出ている。支給についてはきちんと見極めて決定して欲しい。
意見	働く場所があれば後継者も帰ってくると思うが、戻って来れないのが現状だ。	議会	関係部署に伝える。
議会	子どもたちが帰ってくる環境をつくらねばならない。議会でもテーマの一つだ。		

【前方後目地区】出席者数は14人・出席率は23,3% 出席率ランキング5位			
質問	荒れ地に関して「ミニ畑総」の考えがあるようだが、具体的には？		がまとまった所から実施したい。今年度から実施するかどうかは今後の交渉次第。
行政	県営畑総事業で区画整理から漏れている農地や、山際の耕作放棄地などを対象に、ミニ畑総的な事業を実施する計画。交渉	意見	新田の整備と活用をすべし。
		議会	今後検討していく。



大島地区和楽苑



木場地区公民館

他の地区ではどんな意見が？

出前議会

今年で3回目となる出前議会を5月上旬に実施しました。
多くの方にご参加いただきました。
3班で17地区を回りましたが、いろいろな意見や提言をいただきました。
地区においての意見の主なものを記載しました。
今後の取り組みに活かします。



【牛渡地区】出席者数は4人・出席率は16,7% 出席率ランキング7位	
意見	修学旅行生等が増えてるので、土産物の開発等に力を入れるべきでないか？
議会	担い手公社を中心に特産品開発をしていく予定。旧斑小学校を利用して加工場を整備するので、土産物の数を増やす期待が持てる。
質問	滞納金を払えない人にはどうするのか？
議会	最終的には滞納処分や強制執行をすることになる。議会でも滞納に関する特別委員会を設置して調査している。

【柳地区】出席者数は8人・出席率は3,8% 出席率ランキング16位			
意見	輸送費や燃油対策について漁業者が沖に出ることが出来る対策を？	質問	小中学校の給食施設について、子どもの数が少なくなっていく中で、学校給食以外の計画はないのか？
議会	燃油や輸送の対策については今後も引き続き継続していく。県や国においても小値賀町のやり方に目を向けている。	議会	あくまでも学校給食の施設であり、他の利用は考えていない。

【大浦地区】出席者数は8人・出席率は10,3% 出席率ランキング11位			
質問	尼忠東店の改修後の利用形態は？	議会	佐賀航空のセスナ機を、半年間土日チャーターして運航した経緯があるが、契約期間終了後は飛行機の老朽化を理由に継続できないでいる。国の運営費補助は現在難しい状況。
議会	町民の憩いの場及び笛吹地区で公民館を持たない地区の集会所としての利用を考えている。トイレ施設も完備されるので観光客の休憩拠点としても使える。		
質問	空港はどうなっているのか？国の補助は		

【大島地区】出席者数は22人・出席率は31% 出席率ランキング3位			
意見	大島に保育所ができないか。そうすればまだまだ子どもが増えるかも。	意見	里親制度などを考える必要がある。小値賀への留学生を増やすなどの取り組みは？そのことなども含めて可能性を、
議会	学校の先生の協力や高齢者の方々の活用ができないかなど可能性を探ることが大事だと思う。話し合ってみる。	議会	そのことも含めて議会で検討している。人口増のために努力したい。

【中村地区】出席者数は 11 人・出席率は 9,3%
出席率ランキング 12 位

意見 イノシシ対策について、今のところ当地区では幸い被害は出ていないが、今以上に増えないように対策をして欲しい。

議会 現在、ワイヤーメッシュ柵の設置などの対策に力を入れている。

意見 カラス対策にも力を入れて欲しい。

議会 銃器と箱罟による駆除をやっている。基本は自衛。大島地区では地ガラスの巣を落として駆除をしている。



【六島地区】出席者数は 9 人・出席率は 100% 出席率ランキング 1 位

意見 人口減少の問題では、六島の人は殆ど親とか、本人の病気等で引っ越している。命のことは、町も協力できない部分がある。漁師の先導者もいるのに、出ていかなければいけない現状がある。今後のことを考えるといろいろ迷っている。

議会 人口問題では、若い人に頑張ってもらえ

意見 するような支援が必要。子育て支援や結婚等も小値賀独特でやっていかなければならないと考える。

意見 若者Uターン促進について、定年退職者のUターン促進環境整備も良いのでは

議会 六島住民全員で六島ツーリズム協会というのを作って活動してみては？

【唐見崎地区】出席者数は 10 人・出席率は 21,3% 出席率ランキング 6 位

質問 抜港や船便についての解決策は？

議会 申し入れは再三行っている。会社としては、新船を建造する考えを示している。抜港に関しても新船の建造により、抜港やダイヤ、バリアフリーなど、かなりの部分が解決すると思われる。

意見 議会版の総合計画書は配布できないか。

議会 ページ数も多いので、全家庭に配布することはできない。希望者があれば、コピーは可能。

【浜津地区】出席者数は 9 人・出席率は 3,9% 出席率ランキング 15 位

質問 空き家で家主不在の場合はどうするのか

議会 不在家主については行政の方で調査。

意見 野崎にもイノシシがいると言うが、野崎の管理人は罟などを仕掛けていないのか？

議会 免許取得が前提と言う問題があるが、良いアイデアだと思うので所轄課に伝える。

意見 カジノを誘致することはできないのか。

議会 今、政府も実現に向けて法の整備など環境を整える動きをしている。県内では、ハウステンボスで検討されているが、問題点もあるので、本町では簡単には動けないと思う。



【斑地区】出席者数は 23 人・出席率は 11,6% 出席率ランキング 9 位

質問 小値賀町の借金と地方交付税の今後の見通しは？

議会 公債費は 24 年度で 32 億 4000 万円。地方交付税は、今後人口が減少していく中で少なくなることが予想される。

意見 航路問題について。抜港問題の解決及び新船建造を。

議会 九商より協議会設置の要請がきている。

議会 議会としても東京陳情や県への陳情をしている。

意見 女性のUターン者にメリットがないが対応を。

議会 担い手公社などの研修生においても女性の研修も実施している。情報提供を考える。

【納島地区】出席者数は 11 人・出席率は 42,3% 出席率ランキング 2 位

意見 不在地主の土地や建物の維持に困る。町にもらってくれないか。

議会 管理が大変なので、空き屋管理条例を制定し、再利用価値がないものは、寄付をお断りしている。

意見 議会が定期的に（出前議会で）来てくれるので、町政をより深く知ることができ助かる。続けて欲しい。また行政も来て住民の意見要望を聞いて欲しい。

議会 今後も続けたいと思う。行政には話す。

【笛吹在地区】出席者数は 9 人・出席率は 6,1% 出席率ランキング 13 位

質問 玄海原発事故の被害を想定した対策について協議しないのか？

議会 今のところしていない。今後検討する。

意見 他の地区の意見も聞きたい。

議会 検討する。（議会だよりに掲載）



【筒井浦地区】出席者数は 9 人・出席率は 11,3% 出席率ランキング 10 位

意見 介護福祉施設が少ない。町として介護保険とは別枠の高齢者福祉施設を建設したらどうか。町単独で建設を考えるべきだ。

議会 介護保険制度の中では町が建設し運営するという選択は考えにくい。現在の養寿園の増床を図ることで対応できるように検討している。

質問 災害時にどこに逃げればいいのか不安である。また、避難場所を町民に日頃から知らせておく必要があると思うが対策は？

議会 県の示した防災計画を中心に小値賀町の防災計画を見直すことにしている。周知の仕方など議会からも話をする。

【黒島地区】出席者数は 15 人・出席率は 25,4% 出席率ランキング 4 位

意見 福祉施設の増設を早急に。

議会 県の補助の方針が個室型の増床なので、これを実施すると利用者の負担が大きくなる。しかし、来年度から 1 室多床型にも補助金が出ることになりそうなので、養寿園の増床計画も本格化しそうである。

意見 黒島のバス停を作って頂くよう陳情したが、却下された。

議会 若者の減少、高齢化社会の中では重要な社会インフラである。財源問題もあるが、担当の意見を聞いてみる。

議会を傍聴して

屋間は議場に来られない人などのことも考慮して、6月と9月議会の一般質問は夜間に行うことにしております。今回は婦人会連合会を中心に18の方が傍聴されました。傍聴しての感想を寄せていただきました。次回は9月予定です。傍聴を。

久しぶりに議会を傍聴に行き3件の一般質問を聞きました。

1件目は、藻場の再生の目標値の設定と段階的計画でしたが、長い目で見るのではなく、優先順位をつけて早期にしないと、後がないのではと思いました。

2件目は、町の再生及び活性化を図るため各地小値賀会との連携強化でした。小値賀に何か貢献できることがないか考えている若い人がいるので、小値賀会に気楽に行けるような形づくりを考えて欲しいと思いました。

3件目は、新田の整備と今後の利活用でしたが、イノシシ問題にも触れていましたので、私も少し触れさせて頂きました。

私は、よく散歩しますが、ある所で、大きいイノシシと遭遇しました。前にも後にも行けず立ちすくんでいたらイノシシ

の方から立ち去ったので安堵しましたが怖い体験でした。

「もう一度行ってみた町ナンバワン」に選ばれた小値賀町が、イノシシとの遭遇とは？ギャップが大きすぎます。

今後、野首の教会が世界遺産に登録されますと、観光客が数多く訪問されると思いますが、観光客はイノシシ登場で、二の足を踏むのではないのでしょうか。

現在ワイヤーメッシュを張り巡らして、イノシシが入って来ないように防護していますが、それ



福岡県小値賀会

以上に、イノシシ退治を「いの一番」にして頂きたいと思いました。

この問題については、わずかな解答（答弁）で終わったことには驚きもしましたが、一つ一つの問題に対しての議論があっても良いのではないかと思います。

全体的な目で見ますと、早く終わったせいかもしれません。緊張感が無かったように感じられました。（匿名希望）

【小値賀町農業委員会の委員の推薦】

任期満了による農業委員会の委員の改選時期に当たり、議会推薦枠では、時代に即して、女性農業委員を選定することにしました。19日の本会議において、次の3人を農業委員に推薦することを決定しました。

中村郷 前田 猛さん

柳郷 土川浩子さん

前方郷 迎 広子さん

任期は7月20日から3年間です。

よろしく願います。

編集後記

先日、大阪から修学旅行の女子高生4名が我が家に民泊しました。いつもはお米を食べないと言う子が、お替わりをして、「小値賀のお米は甘くて美味しい！」と笑顔を見せてくれ、普段からそう感じている私は素直に嬉しかったものです。

ところで今年の稲作はどうでしょう。梅雨入りしたものの、現在まで少雨の状態が続いており気になるところです。梅雨は梅雨らしく、適度の雨が待たれます。

さて、議会だよりも末広がりの88号となりました。

今回も定例会終了後2週間以内にお手元に届くという離れ業です。スピードも大事ですが、要は中身です。皆さんにとって、親しみやすいものになっているでしょうか。試行錯誤の日々は続きます。近藤育雄